

～爽やかな癒しの風を農道・林道から～

ほっと!

# みどりの“美士林”ニュース Vor.1

## “大森の大藤”と岩手ならではの田園風景のみら ～広域農道 岩手地区～

岩手町一方井にある“大森の大藤”（酪農業三浦公一さん方）が6月上旬に満開を迎えました。爽やかな日差しのもと、たわわに咲き誇った薄紫色の花が緑をまとった枝とともに悠々と風に吹かれてなびいているさまは、田植期の終わりと初夏の訪れをさりげなく告げる、岩手を代表する景観の一つとなっています。大藤の高さは約20mで、樹齢は二百年以上と推定されています（植樹は江戸時代以前ではないかと推測されています）。

さて、大藤は**広域農道岩手地区**（岩手町～八幡平市松尾間の畑作地帯を結ぶ広域基幹農道。昭和55年度から平成7年度にかけて整備され、総延長は20,407m）沿線にあります。この道路は、たばこ、ほうれんそう、きゃべつ（昭和初期には「南部甘藍」(なんぶかんらん)として全国で名を馳せました)をはじめとした本県を代表する畑作地帯や農業関連施設を効率良く結び、東北自動車道松尾八幡平I.C.に連絡する基幹農道です。途中では、七時雨山麓のなだらかな丘陵地に展開されるパッチワークのような多様な農業の営みと美しい田園風景が堪能できます。

また県内有数の観光地八幡平と岩手町（東北新幹線いわて沼宮内駅、道の駅石神の丘）とを短絡する道路でもあり、北緯40度を横断する周遊観光ルートの一つとして期待されています。

爽やかな初夏の風に吹かれながら、岩手ならではの田園風景を堪能してみたいはいかかでしょうか。



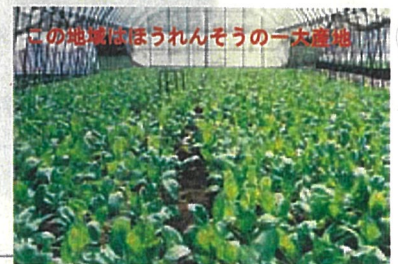
地元ボランティア製作の看板



広域農道付近の畑地（たばこ）



遠く岩手山を望み、七時雨山麓に広がる畑地



この地域はほうれんそうの一大産地

アクセス  
マップ

